



本物の力士に圧倒 有屋小相撲大会

6月24日、校内の土俵を会場に有屋小相撲大会が開催されました。現在の屋根付き土俵の完成30周年を記念して、力士の琴福寿野さんがゲストとして登場。1・2年生の男子が全員で取り組みを挑むもびくともしない琴福寿野さんに、「6人もいるのに全然動かない!」などと声をあげていました。

相撲を通じて、力強さや礼儀作法などを育もうと毎年行っている相撲大会。高学年生の堂々とした土俵入りの姿は本物の力士にも引けをとりません。地域に根付いた伝統ある大会であり続けてほしいと思います。

どくともマンドウ家の素顔 せきららに

6月10日、エッセイストの斎藤由香さんをお招きし、金山町特別講演会を開催しました。

演題は「どくともマンドウ家の素顔ーイキイキと元気で生きるコソ」。父親に作家の北杜夫、祖父に歌人の斎藤茂吉をもつ斎藤さん。祖母輝子さんや躁うつ病になった父杜夫さんとの家族ならではのエピソードを披露してくれました。斎藤さんは振り返るように「苦労の多かった斎藤家で育ち、心が楽になる生き方を学んだ」と話し、続けて「80%で満足すること。それからユーモアを身に付けること」とご自身なりの元気に生きるコツを語っていました。



中田祭 『ナカダヲ タノシク オモシロク』

6月4日、第5回中田祭が開催され、地域を代表する芸達者たちが、思い思いのパフォーマンスを繰り広げました。

「中田住民が中田地域を元気づけるため、中田らしく騒ぐ」ことが祭の魅力。大学生など町外からの交流や地域の子どものステージも楽しみのひとつです。栗田勇樹くん(写真)は中学2年生とは思えない堂々とした日本舞踊を披露していました。200名を超す来場者が訪れた大盛況ぶりに、「いずれ中田地域の枠を超えた、町のイベントとして継続していけたらよい」と実行委員長の栗田洵平さんは胸を高鳴らせていました。



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

旧友との再会に尽きぬ話 東京金山会

6月18日、第59回東京金山会が盛大に開催。関東近郊で暮らす町出身者およそ200名が、同級生や幼馴染と近況報告会で大いに盛り上がりしました。



資源の無料リサイクル回収 ゴミ減量化へ

6月10日、金山町衛生組合連合会による、古着・使用済小型家電などの無料リサイクル回収が行われました。

ゴミの減量化を目的に、昨年11月に続く2回目の試み。この日は衣類や段ボール、雑誌などを中心に、延べ61名、1tを超す資源を回収。回収業者の方は「この他にも靴やバッグなども、積極的にお待ちしております」と話していました。無料回収は、11月にも実施する予定。また通信機器やパソコン類などの使用済小型家電は役場環境整備課でも随時回収しています。ぜひ資源の再利用にご協力ください。

世代間交流で深まる地域の輪 寿大学

6月9日、金山中学校体育館を会場に第2回寿大学世代間交流が行われました。

今年入学した中学1年生51名が、10班に分かれておじいちゃん、おばあちゃんと交流。方言クイズでは、普段聞いたことはあっても、意味の知らなかった言葉を学び、金山についての理解を深めていました。1年生を代表して天口優羽さん(大又)は「たくさんの人と交流できて良かった。おもしろい話や方言を教えてくださいありがとうございます」と感謝の気持ちを述べていました。世代間の交流が子ども達の視野を広げ、地域の輪をつくっていきます。



シェーネスハイム20周年 花添える歌声喫茶

今年で20周年を迎えるホテルシェーネスハイム金山。6月4日、その節目を記念して「歌声喫茶&フォークソング」イベントが、レストランフォレストで行われました。

40名の来場者の前で、山形フォーク村で活躍されている「ソングス」の皆さんが、歌謡曲などの懐かしのナンバーを演奏。来場者たちは、コーヒーを片手に思うままに口ずさみながら、ゆったりとした屋下がりをお過ごししました。この他にも、ホテルシェーネスハイム金山では、様々な20周年記念企画を用意。ぜひランチなどもお気軽に利用してみたいはいかがでしょうか。

谷口がっこそば 夜の活用に演劇を

5月27日、谷口がっこそばを会場に、戦後まもない広島を舞台にした二人芝居「父と暮らせば」が公演されました。

川西町演劇研究会による郡内初公演を観ようと、会場には約30名が来場。主宰の古川孝さんは「ここでの公演は2年来の願い。色々なところをまわってきたが、こんなに雰囲気の良い舞台は初めて」と憧れの舞台に立った喜びを語ってくれました。4月からボックス地域おこし企業組合が運営している谷口がっこそば。代表の菅谷さんは「夜も気軽に集える場所にしたい」と話します。谷口がっこそばの『夜の活用』に期待大です。

